

※ 自彊前進…自ら努め励み、前に進むこと(校歌3番の詞から)

三学期終業式 校長講話

校長 柳沼 宏寿

いよいよ平成28年度の学校生活が終了します。毎日の授業や部活動、生徒会活動、学校行事など、大変濃密だったこの一年間。みなさんはどのように総括していますか。特に三学期の大きな行事であった一年生の「東京班別学習」、そして二年生の「台湾の旅」、大変お疲れ様でした。1年生の「東京班別学習」では、社会の第一線で活躍している方々と色々な出会いがあったことと思います。世の中へ出る前に、何を身につけていかなければならないのか、未来からのメッセージとも言える先輩方の声を参考にしながら判断してください。そして、本校で初めての海外研修となる2年生の「台湾の旅」では、異文化との触れ合いから、さぞ多くのことを学んできたことと思います。国際的な視野を身に付けることが重要課題となっている今日、ぜひ、その成果を内外に発信していただきたいと思ひます。

ここで、明治時代にグローバルな視野から日本の美術を推進した岡倉天心(本名:覚三)について少しお話ししたいと思います。彼は、「変化こそ唯一の永遠である」という言葉を残しています。「変化」が「永遠」であるとはどのような意味なのでしょう。

明治初期、いわゆる文明開化の機運の中で、日本は西洋文化を拙速に取り込んでいました。当時は「廃仏毀釈」運動、いわゆる政府の宗教上の政策に相まって歴史的な仏教美術が破壊されたり海外へ流出したりしており、美術教育においても古い伝統的な様式よりも鉛筆によるデッサンや油絵などの西洋から伝わった学びに傾倒しつつありました。岡倉は、東京大学で学んでいた時にアメリカから来た教師アーネスト・フェノロサに出会い、日本が自国の伝統の良さや価値を見失っていることに気付かされます。そして、フェノロサとともに伝統的な日本美術の保護と発展に力を注いでいったのです。その時に、洋画と区別するために「日本画」という言葉が初めて生まれました。岡倉は後に東京芸術大学の学長となりますが、彼が目指した「日本画」は、旧来からあった様式を継承するに止まらない、洋画に対抗しうる新しいものだったので、伝統に固執する立場からの批判も強くありました。

岡倉が重視したのは、歴史を振り返ることによって自国のよさや価値を見出し、それを未来へ繋げることでした。つまり、彼が言う「変化」とは、単に目新しいものや流行を追うことではなく、不易を大切にしつつも、時間とともに移りゆく環境や人々の心を的確に受け止めていくことなのです。そのことが「永遠」という、未来を生き続けるために大切なことだと言っています。

岡倉がボストン滞在の時に次のようなエピソードがあったそうです。羽織袴の姿

で往来を歩いていた時に数人の青年たちに囲まれて

“What sort of -nese are you people? Are you Chinese, or Japanese, or Javanese?”

と尋ねられたそうです。東洋人は皆同じ顔に見えるとからかわれたわけです。普通なら、たじろいでしまうところですよ。でも天心はとっさに

“We are Japanese gentlemen. But what kind of -key are you? Are you a Yankee, or a donkey, or a monkey?”

と答えました。青年たちは、これは一本取られたと感嘆したそうです。当時、日本ではまだ英語を話す人が多くなかった中、岡倉は海外で『東洋の理想』『日本の目覚め』『茶の本』という三冊の著書を出版しています。すべて英語で書いたものです。

先ほどの岡倉の切り返しは、このような場で皆さんに伝えて貰える武勇伝ではないかもしれませんが、注目すべきはコミュニケーションにおいて「機転をきかせる」ことの重要性です。グローバル化時代には、相手とリアルタイムで意思疎通をすることが求められてきます。二年生は台湾の旅でそのことを身をもって学んできたことと思います。その感覚を忘れないうちに、これからの学びにしっかりと生かしていきましょう。

それにしても一年という期間は、過ぎ去ってみればあっという間ですね。今週の月曜日に公立高校の合格発表がありました。卒業した3年生の進路はこれでほぼ決定しました。一年後、そして二年後には、皆さんがその立ち位置にいます、そのことをイメージしながら、今なすべきことを着実に積み重ねていくことが大切です。

みなさんもすでにご承知のように、来年度は本校にとって70周年を迎える記念すべき年です。長き伝統をしっかりと継承し、また新たな高みに向かって精進している姿を先輩方にそして4月から入学してくる後輩達にもしっかりと見せてほしいと思ひます。

では、新年度、また元気な姿を見ることを楽しみにしております。



平成29年3月3日(金) 第69回卒業証書授与式